



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和 6 年 6 月 28 日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

ライオン株式会社
代表取締役兼社長執行役員 竹森 征之

ライオングループは消費財メーカーとして、いつも人のそばにいて、めぐり来るすべての一日の、
人の清潔、人の健康、人の快適、そして人の環境を守り続けることを使命と考えます。
「人と地球の健やかな未来」に向けた以下の取り組みを進めてまいります。

1. 脱炭素社会の実現による地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します

①事業活動からの温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます

■パリ協定を受けた温室効果ガス削減目標として、温室効果ガス削減のための利用可能な最先端技術・製品・サービスの最大限の活用などにより、2030年までに事業活動に伴う温室効果ガス排出量を絶対量で、2017年比55%削減を、2050年までに排出ゼロを目指します。

②原材料調達から輸送、製造、使用、廃棄にいたる製品ライフサイクルで排出される温室効果ガス量の削減にも積極的に取り組んでいきます

■製品ライフサイクルでの温室効果ガス量を絶対量で2030年までに2017年比30%削減、2050年までに50%削減を目指します。

■Scope3までを含んだサプライチェーン全体での定量的な温室効果ガス排出量の把握・情報公開をします。また、節水・省CO2型、省プラスチック型の環境フレンドリー製品・サービスの提供と、消費者とのコミュニケーション(当社ウェブサイトでの定量的な削減効果の情報提供やイベント等における啓発活動を含む)を通じた「エコの習慣化」の促進により、生活者の使用場面での環境負荷削減を推進します。

2. 循環型社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進します

■容器包装の機能性等を確保しつつ、容器包装の軽量・コンパクト化やつめかえ・つけかえ用商品の拡充および再生材料を積極的に活用し、プラスチックなど容器包装材料の3R(Reduce、Reuse、Recycle)およびRenewableを推進します。

■2030年までに製品および容器に使用するプラスチック資源量における石油由来プラスチック使用率を70%以下にします。

■事業活動全般での廃棄物の削減・リサイクルに取り組み、リサイクル率99%以上を全事業所で継続します。また、オフィスにおいては、社員一人一人が、ゴミの分別を行い、特にペットボトルについては、「ラベル・キャップを取る・飲み残しを捨てる・潰す」を行った上で廃棄する等のルールにしたがってゴミの廃棄を行います。

3. 自然との共生の実現に向けた取り組みを積極的に推進します

■バリューチェーン全体について、生物多様性に係るリスク、生物多様性への依存や影響を把握・開示します。

■2030年までに、認証紙・パルプ(FSC、PEFC等)、認証パーム油・パーム核油及びそれらの誘導体(RSPO等)を調達します(全量)。また、これらは森林破壊ゼロを支持するサプライヤーから調達します。

■ステークホルダーとの連携により、生物多様性の保全に取り組めます。

ライオングループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、
その結果について環境省への報告ならびにウェブサイトなどによる公表を行ってまいります。

今日を愛する。

LION